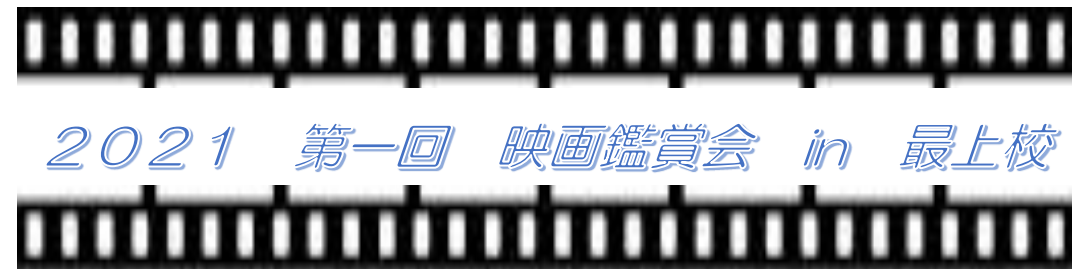




## TVで見ない日がないよ！ 有吉弘行！！

春のアンケート調査で有吉の本をリクエストしてくれた生徒がいました。毎日、活躍している有吉のことをちょっと、調べてみました。成功から転落、そして復活！その人生には、何かヒントはないだろうか？高校に在学中だった有吉はテレビの企画に合格し、オール巨人（オール阪神・巨人）へ弟子入りした。しかし兄弟弟子と喧嘩に発展して相手に怪我を負わせてしまい、巨人から謹慎を言い渡される。そのまま無断で巨人の下を離れた有吉は、地元の同級生だった森脇和成を誘い2人で上京する。森脇とコンビ『猿岩石』を結成、ボケ担当としてデビュー。後にオール巨人から正式に破門となる。1996年『進め！電波少年』でのヒッチハイクの旅企画で話題となりブレイク。帰国後は爆発的に売れるも肝心のお笑いで結果を残すことができません、ほどなくして人気は低迷し仕事が激減。本人曰く自身は当時「天狗」になっており、あまり人に好かれておらずブームが去るとその後の転落速度は相当なものだった。2004年、猿岩石を解散し、ピン芸人として活動を始める。ピン芸人としての舞台用のネタなどは一切持っておらず、毒舌や辛口コメントを得意とする、バラエティ番組に特化した純粋なテレビタレントとなっている。全局に冠番組を持ったのは有吉が初である。



## 「記憶屋」 織守きょうや著

主演：山田涼介・芳根京子

図書委員会企画 第一回映画鑑賞会を9月17日(木) 3時50分から生物化学室で開催しました。1年12人・2年9人・3年3人の合計24人の参加でした。多数参加していただき、今までにない大盛況でした。バドミントン部、地域活動部スポーツ班の皆さんありがとうございました。「人々の中にある忘れた記憶やその奥にある思いを乗り越えて、新しい記憶と思い出を育んでいく人生を歩いていく事」を教えられたように思います。鑑賞した皆さんも、次のように感想を書いてくれました。

- 映画鑑賞会に参加して、とても良い企画だと思います。また参加します。
- 小説に興味を持つことが出来たので、ぜひ原作を読みます。
- 自分の失敗したことなどは、忘れたいと思いつつも、今後にも生かせると思う記憶なので、恥ずかしいことでも、大事な記憶なのだと改めて思いました。
- 楽しいことだけでなく、悲しい出来事、思い出もしっかり覚えていこうと思った。映画の中で、記憶をなくした理由を知ったとき、凄く切ない気持ちになりました。
- この映画を観て、とても「記憶」ということについてとても考えさせられた。
- 記憶屋が意外な人でびっくりした。



# 夏一、オススメの新刊！！



## 「エレジーは流れない」 三浦しをん著

海と山に囲まれた餅湯温泉。団体旅行客で賑わっていたかつての面影はとうにない。のどかでさびれた温泉街に暮らす高校生の怜は、複雑な家庭の事情や、進路の選択、自由奔放な仲間たちに振り回されながら、悩み多き日々を送っていた。今日も学校の屋上で同級生4人と仲良く弁当を食べていたら？



## 「あの夏の正解」 早見和真著

このまま終わっちゃうの？二〇二〇年、愛媛の済美と石川の星稜、強豪二校に密着した元高校球児の作家は、彼らに向き合い、“甲子園のない夏”の意味を問い続けた。退部の意思を打ち明けた三年生、迷いを正直に吐露する監督。パンデミックに翻弄され、挑戦することさえ許されなかったすべての人に送るノンフィクション。



## 「琥珀の夏」 辻村深月著

小学生の頃に参加した〈ミライの学校〉の夏合宿。そこには自主性を育てるために親と離れて共同生活を送る子どもたちがいて、学校ではうまくやれない法子も、合宿では「ずっと友達」と言ってくれる少女に出会えたのだった。幼い日の友情と罪があふれだす。圧巻の最終章に涙が込み上げる。



「男の子になりたかった女の子になりたかった女の子」松田青子著  
コロナ禍で子どもを連れて逃げた母親、つねに真っ赤なアイシャドウをつけて働く中年女性、いつまでも身を固めない娘の隠れた才能、あなたを救う非常口はここ。はりつめた毎日に魔法をかける最新短編集。

## 「スモールワールズ」 一穂ミチ著

夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。秘密を抱えて出戻ってきた姉とふたたび暮らす高校生の弟。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。人知れず手紙を交わしつつける男と女。向き合うことができなかった父と子。大切なことを言えないまま別れてしまった先輩と後輩。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描き尽くす連作集。



# 夏一、オススメのコミック！！



## 「はたらく細胞 06」 清水茜著

今、世間を騒がすあの「新型コロナウイルス」、このウイルスに感染した時、体内では何が起きているのか…!? 今、誰もが気になる大注目のエピソードを収録!



## 「マグメル 深海水族館」 梶下聖海監修

生命の大切さと多様な生き方を学べる、深海生物と人々の物語。東京湾の水深200mに水族館がオープン…；世界初、深海に誕生したマグメル深海水族館では、多種多様に生きる深海生物たちを間近で観察できる。飼育員という仕事の喜びや苦悩を学び、日々成長していく航太郎。



「幽遊白書」全15巻揃いました！

